

ニカラグア定期報告（2023年11月）

【要旨】

内政面では、ラモス最高裁判所（CSJ）長官を始めとする60人以上の司法当局関係者が更迭された。また、ミス・ユニバース世界大会においてグランプリを獲得したニカラグア代表の関係者が、政府により入国（帰国）を拒否された。

外交面では、ニカラグアのOAS憲章破棄通告が有効となる2023年11月の機会に、モンカダ外相が声明を発出した。

経済面では、2023年第3四半期における郷里送金が、昨年同期間比52.0%増の34億3,350万米ドルに達した。

【主な出来事】

1 内政

（1）ラモス最高裁長官他、司法当局関係者の自宅軟禁状態

10月26日～11月1日にかけて、アルバ・ルス・ラモス最高裁判所（CSJ）長官が尋問のため国家警察に連行されたことをきっかけに、ヤディヤ・センディノCSJ民事判事など60人以上の司法当局関係者が同様に連行、あるいは拘束された。これらの人物は現在職務に当たっておらず事実上の更迭状態にある。なお、これまでCSJ及び国家警察から公式な発表はされていない。また28日、ラモス元長官の家宅が接収された。

（2）NGO団体の法人格剥奪

24日及び28日、内務省は、新たに合計39のNGOの法人格を取り消した。これにより、2018年から法人格を取り消されたNGOは合計3,389団体となった。

（3）ミス・ユニバース世界大会

ア 18日、エルサルバドルで開催されたミス・ユニバース世界大会において、ニカラグア代表のシェイニス・パラシオス氏がグランプリを受賞。この快挙に人々はニカラグア国旗を掲げ、路上で同氏を盛大に祝った。

イ 19日、政府はコミュニケを発出し、同氏のグランプリ受賞に祝意を表した一方、22日、ムリージョ副大統領は、直接的な言及は避けつつ、パラシオス氏を反政府活動に利用しようとしている者に対する警告とも取れる発言を行った。

その後、政府系放送局によるパラシオス氏を嘲笑する内容の番組を批判した者が逮捕されたり、パラシオス氏の壁画アート制作が中止させられるなどした。

ウ 23日、セレベルッティ・ミス・ニカラグア事務局長（パラシオス氏を支えるチームの一員）はニカラグアへの入国（帰国）を拒否され、同氏のマナグア市内の自宅が家宅捜索された。

エ 25日、上記の事態を踏まえ、ミス・ユニバース事務局は、ニカラグア政府に入国条件を満たした者の安全を確保するよう申し入れている旨の声明を発表した。

(4) 教育大臣

21日、ニカラグア政府は、メンディ・デル・ソコロ・アラウス・シルビアを教育大臣に任命した。

(5) 家族大臣

11月27日、ニカラグア政府は、ヨハナ・バネッサ・フローレス・ヒメネス氏を家族大臣に任命した。

外交

(1) 中国

ア 10月28日から11月3日、アビレス国軍司令官は、劉振立中国国軍將軍の招きにより、中国を公式訪問した。また同司令官は、その後、ロシア及びキューバを訪問し、シヨイグ露国防大臣、ソラス・キューバ国軍將軍とそれぞれ会談を実施した。

イ 2日、中国 Yutong 社より購入した市内循環用バス200台がニカラグアに到着した。

ウ 7日から9日、ラウレアノ・オルテガ投資・貿易・国際協力担当大統領顧問（オルテガ大統領夫妻子息）率いる政府代表団は、中国を訪問し、以下の活動を行った。

(ア) Zhong Shan 中国全人代常設委員会委員兼財政経済委員会委員長及び Li Minxiang 中国共産党国際委員会副委員長との会合。

(イ) Luo Zhaohui 中国国家国際発展合作署（CIDCA）総裁との会談及び住宅建設、火力発電、水と衛生、新型コロナウイルスワクチン供与、小麦及び肥料の供与、保健省への機材供与等のプロジェクトに係る重要なパッケージへの署名。

(ウ) HAUWEI 本社におけるニカラグアのDX及び5Gに関する計画策定推進のための協議。

(エ) 中国国営建設技術公社（CSCEC）との交通インフラに関する7つの覚書署名。

エ 13日、ニカラグア観光庁（INTUR）と中国中青旅（CYTS）は、歴史、伝統、特性、観光資源、滞在、料理を促進する魅力的な観光商品とサービスの開発を通して両国の観光分野の強化に貢献するための覚書に署名した。

オ 29日、中国政府は小麦粉1,481トン、尿素2,595トンを供与した。

(2) 米州機構（OAS）

ア 8日、OAS常設理事会において、ニカラグアがOAS脱退後も人権に関する義務を遵守しなければならないとする決議がコンセンサス採択された（注：ニカラグアは202

1年11月19日にOAS憲章破棄通告を行っており、規定により、これが有効となるのはその2年後）。

イ 20日、モンカダ外相は、正式にOAS憲章破棄通告が有効となるに当たり、これまでOASが加盟各国に行ってきた取組を事細かに批判しつつ、ニカラグアがOASから永久に脱退する内容の声明を発出した。

(3) 中米統合機構 (SICA)

ア 16日、ウェルナー・バルガスSICA事務局長 (ニカラグア人) は、同職を辞任した。これに関する理由は明らかにされていない。

イ 17日、ニカラグア政府は、バルガス元事務局長の後任候補として、ヴァルドラック・ジェンスケ元外務次官他2名を提案した。

(4) 米国

21日、米務省は、キューバやハイチなどからニカラグアを目的地とするチャーター機を運航する企業関係者のビザを制限する新たな措置を発表した。

3 経済

(1) 郷里送金

7日、ニカラグア中央銀行 (BCN) は、2023年第3四半期における郷里送金が、昨年同期間比52.0%増の34億3,350万米ドルに達したと発表した。送金元の主な内訳は、米国: 66.4%、コスタリカ: 19.7%、スペイン: 1.0%。

(2) エコノミスト・インテリジェンス・ユニット (EIU) 分析

EIUは、2024~28年のニカラグアの経済成長は、郷里送金が個人消費を下支えすると思われるも、金利上昇、貧弱な投資環境、信用悪化、実質賃金低下により緩やかに鈍化していき、平均2.6%と平凡な経済成長が継続すると分析した。

(3) 国際通貨基金 (IMF) 4条協議にかかるスタッフチーム声明

22日、IMFスタッフチームはニカラグアとのIMF4条協議におけるスタッフチーム声明において、ニカラグア政府による経済政策を概ね好意的に評価し、今後の経済見通しについても比較的ポジティブに評価した。

<主要経済指標>

	2021年	2022年	2023年		
	9月	9月	8月	9月	10月
年間累計インフレ率	3.49%	7.66%	3.59%	3.39%	3.62%

2023年11月
在ニカラグア日本大使館

貿易収支（百万ドル）	▲262.1	▲329.0	▲377.4	▲383.1	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	255.2	264.3	326.6	280.0	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	517.3	593.4	704.0	663.1	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	175.7	288.1	409.8	399.8	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	4,058.2	4,243.7	5,157.3	5,159.6	5,288.6

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））